

## 平成 28 年度事業報告

### 1. 実務修習の見直しについて

- (1) 前年度に引き続き、国土交通省における不動産鑑定士試験実施の改善に並行して、受験者層の拡大に合わせた制度構築を図るべく、第 12 回実務修習（平成 29 年）における改正を目途として、各課程の受講形態から必要とされる課題の内容、量、修了考査の実施方法までのすべての段階について、検討を進めました。そして、これらの検討結果に基づき、実務修習見直しの概要を策定し、第 311 回理事会（平成 28 年 5 月 24 日）に報告のうえ、平成 28 年 6 月に本会 Web ページにおいて公表いたしました。
- (2) 各課程の受講形態や実施方法の見直しに対応するため、実務修習生による Web 上の課題提出機能や履修状況の管理機能等必要となる諸機能の検討を行いました。来年度に向けて、まずは Web 上の課題提出が可能なシステムの導入について、具体化を図りました。
- (3) 第 11 回実務修習（平成 28 年）より段階的な見直しを実施するべく、実務に関する講義において、集合形式による講義の新規科目（原価法）の追加及び e ラーニングによる新規科目（「行政法規総論」、「価格等調査ガイドライン」及び「宅地見込地の鑑定評価」）の追加を行い、第 311 回理事会（平成 28 年 5 月 24 日）にて実務修習業務規程の一部を改正いたしました。これに基づき、後述のとおり、実務修習教材を改訂のうえ、平成 29 年 3 月、e ラーニングによる新規 3 科目の講義を配信いたしました。

### 2. 実務修習業務規程等の改正について

上記 1.における実務修習業務規程の一部改正の他、修了考査における合否の決定方法について、従来の三段階評価による方法から、より明確な基準となる点数評価による方法に変更するべく、第 62 回業務執行理事会（平成 28 年 11 月 15 日）にて実務修習業務規程施行細則の一部を改正いたしました。

### 3. 平成 28 年度実務修習実施状況について

本年度における実務修習につきましては、「不動産の鑑定評価の実務に関する講義」「基本演習」「実地演習」「修了考査」の各段階に分け、次のとおり実施いたしました。

(1) 実務修習生の在籍状況

第 11 回実務修習は平成 28 年 12 月から、114 名の実務修習生を迎えて実施されております。第 10 回実務修習までの実務修習生を加えた平成 28 年 12 月 1 日現在の実務修習生の在籍総数は 274 名で、その内訳は次表のとおりです。

回 コース	第 6 回	第 7 回	第 8 回	第 9 回	第 10 回	第 11 回
1 年	0	0	0	11	82	84
2 年	1	2	6	31	26	30
3 年	0	0	1	0	0	0
小計	1	2	7	42	108	114

(2) 各課程の実施状況

実務修習の各課程の実施状況は、次のとおりです。

なお、実務修習生の各課程の単元の認定に当たっては、実務修習審査会を 7 回に亘り開催し、課程別の審査基準に基づき、それぞれ適正に審査を実施いたしました。

ア. 不動産の鑑定評価の実務に関する講義（以下、「講義」という。）

	開催日	開催場所	主な対象者
後期	平成 28 年 6 月 2 日(木) ～6 月 4 日(土)	ベルサール新宿グランド	第 10 回修習生
前期	平成 28 年 12 月 15 日(木) ～12 月 17 日(土)	ベルサール神保町アネックス	第 11 回修習生

イ. 基本演習

	開催日	開催場所	主な対象者
第一段階	平成 28 年 4 月 15 日(金) ～4 月 16 日(土)	ベルサール西新宿（東京）	第 10 回修習生
	平成 28 年 4 月 22 日(金) ～4 月 23 日(土)	天満研修センター（大阪）	第 10 回修習生
第二段階	平成 28 年 8 月 19 日(金) ～8 月 20 日(土)	ベルサール西新宿（東京）	第 10 回修習生
	平成 28 年 8 月 26 日(金) ～8 月 27 日(土)	大阪国際会議場（大阪）	第 10 回修習生

## ウ. 実地演習

実務修習生の物件調査実地演習及び一般実地演習の報告は、1年を3期に分け、実務修習生が選択した実務修習期間別に報告が行われました。

### (3) 修了考査の実施

第10回修了考査は、平成29年1月23日(月)から1月26日(木)までの期間で実施いたしました。実務修習の全課程を修得した実務修習生122名が受験し、104名の実務修習生が実務修習を修了いたしました。

### (4) 平成28年度実務修習実施計画の公表

実務修習業務規程第6条の規定に基づき、第11回実務修習の実施に向けて、「平成28年度実務修習実施計画」を策定し、平成28年9月に本会Webページにおいて公表いたしました。

### (5) 実務修習教材の作成

第11回実務修習に向けて、講義、基本演習及び実地演習の各課程の教材を改訂・作成いたしました。なお、講義に係る教材では、実務修習の見直しに伴って追加した「原価法」、「行政法規総論」、「価格等調査ガイドライン」及び「宅地見込地の鑑定評価」について新たに作成いたしました。また、各科目相互の整合性を図るよう検討を行い、改訂いたしました。

### (6) 実務修習指導鑑定士研修の実施

前年度に引き続き、実地演習に係る指導鑑定士及び指導鑑定士登録予定者等を対象として、実地演習の指導内容等について整合性を図ること等を目的とする実務修習指導鑑定士研修については、JAREA e-研修において、実施いたしました。

平成28年度実務修習会計決算書  
正味財産増減計算書  
平成28年4月1日から平成29年3月31日

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
修習料収益	34,889,800	31,542,300	3,347,500
講義料収益	13,232,700	12,108,600	1,124,100
基本演習収益	11,998,800	10,692,000	1,306,800
審査料収益	9,631,300	8,741,700	889,600
研修料収益	27,000	0	27,000
修了考査料収益	3,757,600	3,420,000	337,600
修了考査料収益	3,757,600	3,420,000	337,600
雑収益	6,054,540	2,738,000	3,316,540
雑収益	6,054,540	2,738,000	3,316,540
経常収益合計	44,701,940	37,700,300	7,001,640
(2)経常費用			
事業費	52,292,424	48,223,673	4,068,751
給料手当	14,249,926	14,376,244	△ 126,318
旅費交通費	1,744,145	2,001,236	△ 257,091
通信運搬費	1,534,023	1,352,053	181,970
消耗品費	105,504	102,510	2,994
印刷製本費	5,909,476	4,908,136	1,001,340
光熱水料費	247,848	261,912	△ 14,064
賃借料	4,301,832	3,932,976	368,856
設備賃借料	520,104	520,104	0
会議費	6,646,160	6,632,287	13,873
修繕費	367,224	237,624	129,600
諸謝金	11,655,600	10,969,000	686,600
委託費	2,756,781	734,724	2,022,057
業務委託費	1,477,533	1,442,657	34,876
支払手数料	74,636	89,522	△ 14,886
租税公課	603,500	601,650	1,850
雑費	98,132	61,038	37,094
経常費用合計	52,292,424	48,223,673	4,068,751
当期経常増減額	△ 7,590,484	△ 10,523,373	2,932,889
2.経常外増減の部			
(1)経常外収益	0	0	0
経常外収益合計	0	0	0
(2)経常外費用	0	0	0
経常外費用合計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,590,484	△ 10,523,373	2,932,889
一般正味財産期首残高	7,030,905	17,554,278	△ 10,523,373
一般正味財産期末残高	△ 559,579	7,030,905	△ 7,590,484
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	△ 559,579	7,030,905	△ 7,590,484

## 貸借対照表

平成29年3月31日

単位:円

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	14,996,822	28,266,391	△ 13,269,569
未収金	27,000	0	27,000
前払金	585,386	375,514	209,872
流動資産合計	15,609,208	28,641,905	△ 13,032,697
2.固定資産			
(1)特定資産			
特定費用積立金	12,000,000	6,000,000	6,000,000
特定資産合計	12,000,000	6,000,000	6,000,000
(2)その他固定資産	0	0	0
固定資産合計	12,000,000	6,000,000	6,000,000
資産合計	27,609,208	34,641,905	△ 7,032,697
II 負債の部			
1.流動負債			
前受金	28,149,100	27,611,000	538,100
預り金	19,687	0	19,687
流動負債合計	28,168,787	27,611,000	557,787
2.固定負債	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	28,168,787	27,611,000	557,787
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
2.一般正味財産	△ 559,579	7,030,905	△ 7,590,484
(うち基本財産への充当額)	( 0)	( 0)	( 0)
(うち特定資産への充当額)	(12,000,000)	(6,000,000)	(6,000,000)
正味財産合計	△ 559,579	7,030,905	△ 7,590,484
負債及び正味財産合計	27,609,208	34,641,905	△ 7,032,697

実務修習会計

財産目録

平成29年3月31日

単位:円

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
流動資産	普通預金	みずほ銀行虎ノ門支店	運転資金として	14,996,822
	未収金	西浦宣行他	実務修習講義・行政法規総論(e研修)受講料他	27,000
	前払金	JA共済ビジネスサポート(株)	実務修習会場予約金の前払金	405,000
		山下建築設計事務所他	実務修習に係る建物図面作成料	162,000
		ヤマト運輸(株)他	実務修習に係る資料送料他	18,386
流動資産合計				15,609,208
固定資産	普通預金	特定費用準備資金 みずほ銀行虎ノ門支店	実務修習教材改訂に伴うeラーニング化に係る資金積立	12,000,000
	その他の固定資産			0
固定資産合計				12,000,000
資産合計				27,609,208
流動負債	前受金	平成29年度実務修習受講料	講座、セミナー、育成の実務修習の業務に使用する翌事業年度受講料	28,149,100
	預り金	源泉税他	講師謝金等の源泉税他	19,687
流動負債合計				28,168,787
固定負債	固定負債			0
固定負債合計				0
負債合計				28,168,787
正味財産				△ 559,579

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 「公益法人会計基準」(平成20年4月11日内閣府公益認定等委員会)を採用している。

(2) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

単位:円

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本金引当預金	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
特定費用積立金	6,000,000	6,000,000	0	12,000,000
小 計	6,000,000	6,000,000	0	12,000,000
合 計	6,000,000	6,000,000	0	12,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

単位:円

科 目	当期末残高	内指定正味財産 からの充当額	内一般正味財産 からの充当額	内負債に 対応する額
基本財産				
基本金引当預金	0	-	( 0)	-
小 計	0	-	( 0)	-
特定資産				
特定費用積立金	12,000,000	-	(12,000,000)	-
小 計	12,000,000	-	(12,000,000)	-
合 計	12,000,000	-	(12,000,000)	-